

事務事業チェックシート

事務事業No 事業名
493 準用河川改修事業（前代川、永山川）

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	3	豊かな暮らしを支える住環境の整備
施策	2	河川・水路の整備
取組方針	1	準用河川及び普通河川の改修

事業種別	継続		
事業期間	平成21	～	平成31
事業実施の根拠法令	(永山川は平成29～38)		
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	河川港湾課	角田 憲彦	435-1090
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		土木費	
	項		河川費	
	目		準用河川改修事業費	
	大事業		準用河川改修事業	
中事業		準用河川改修事業（補助・単独）		

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）		全体事業概要			
	<p>【前代川】 前代川が合流する和田川への放水路の新設及び河道改修を行い、吉礼地区の浸水被害を解消する。</p> <p>【永山川】 永山川の河道断面確保のため河道改修及び永山川に合流する平尾川からのバイパスの新設を行い、西山東、東山東地区の浸水被害を解消する。</p>	<p>【前代川】 吉礼地区の浸水被害を解消するため、合流する和田川への放水路の新設及び河道改修を行う。 事業の流れとしては、 設計→測量→用地取得→工事→竣工</p> <p>【永山川】 浸水被害を解消するため、永山川の河道断面の河道改修及び永山川に合流する平尾川からのバイパスの新設を行う。 事業の流れとしては、 設計→測量→用地取得→工事→竣工</p>				
事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	<p>【前代川】 護岸改修 5m</p>	<p>【前代川】 用地購入 1,218㎡ 地盤改良 83m</p>	<p>【前代川】 用地購入 401㎡ 地盤改良 183m 護岸改修 50m</p> <p>【永山川】 詳細設計 (護岸設計) 1式 測量業務 1式</p>	<p>【前代川】 地盤改良 270m 護岸改修 410m</p> <p>【永山川】 詳細設計 (橋梁等) 1式 用地購入 1式</p>	<p>【前代川】 地盤改良 100m 護岸改修 190m</p> <p>【永山川】 詳細設計 (橋梁等) 1式 用地購入 1式</p>	

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	224,058	88,366	191,389	262,619	192,642	214,958	191,740	191,740	191,740	
伸び率 (%)	-	-	▲14.6%	197.2%	0.7%	▲18.1%	▲0.5%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	24,503	19,033	19,868	29,458	29,458	31,388	18,664		
	正規職員以外	0	0	0	404	404	402	478		
	小計	24,503	19,033	19,868	29,862	29,862	31,790	19,142		
国庫支出金	54,000	25,700	60,000	81,800	60,000	68,300	60,000		60,000	
県支出金		5,425								
市債	103,000	50,000	115,400	150,000	112,600	127,800	115,900		115,900	
その他						6,519				
一般財源（税等）	15,553	7,241	15,989	30,819	20,042	12,340	15,840		15,840	
所要人数（人）	正規職員	3.15	2.50	2.67	3.71	3.71	3.94	2.34		
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.10	0.10	0.1	0.19		
主な予算内訳	工事請負費148,280千円 委託料20,000千円 公有財産購入費13,000千円									

3 目標及び実績

指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
		目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値	達成度(%)
準用河川（前代川）の改修延長（累計）	m	目標値	112	148	290	395	500
		実績値	53	129	230		
		達成度(%)	47.3%	87.2%	79.3%		
準用河川（前代川）の改修率	%	目標値	22	34	55	77	100
		実績値	11	26	46		
		達成度(%)	50.0%	76.5%	83.6%		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>準用河川前代川は、大雨時には河道の流下能力不足、放流先の和田川の内水排除不足により度々浸水被害が発生しており前代川の早期改修は流域住民の悲願である。和田川への放水路の新設を行い前代川流域の大幅な浸水被害の解消を目指す。</p> <p>準用河川永山川は、永山川及び平尾川の流下能力不足、中上流部にある用水樋門による断面阻害により、緊急輸送路である県道と歌山橋本線も度々浸水しており、早急な浸水解消が必要である。永山川の河道改修及び平尾川のバイパス新設を行い、大幅な浸水被害の解消を目指す。</p>
見直し・改善内容	<p>前代川改修事業は、当初平成32年度の完成予定であったが、平成24年の豪雨で甚大な被害があり、その後流域住民から早期完成の要望があり、工期の短縮が出来るように見直した結果、平成31年度の完成を目指す。</p> <p>永山川改修事業は、本川である和田川の整備と進捗を調整する必要があり、工事着手までに設計業務及び用地買収等を先行し、早期の事業完了を目指す。</p>